

11702機械修理業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	8~9	本人は、本社工場内でトラック荷台に工具類を積み込み中に、工場内北西側に積み置きしていた鋼製パイプ（長さ4m・重量約30kg/本×20本）に歯止めで緩衝した際、パイプが荷崩れを起こして落下し、右足甲に当たり受傷した。	30	5	521	30~49
2	2017	12	16~17	カーリフト用モーターの交換時に、左足を滑らせ転倒し、その際に左肘および左脇腹を強く打撲した。	59	2	214	10~29
3	2017	12	10~11	工場空調機跡のステージ上にて、新規に設置した放送設備のスピーカーの写真を撮ろうとして、スピーカーの方を向きながら斜め右方向へ移動をしながら、ステージから足を踏み外し、ステージの骨組みであるH鋼に左側第10肋骨を当て骨折した。その骨折により腎臓を圧迫損した。	46	1	414	300~499
4	2017	11	14~15	当社工場敷地内において、12t級油圧ショベルのエアコンベルト調整中に他の者が作業に気付かずエンジンを始動した為、ベルト調整中であつた者の右手小指・薬指をベルトとプーリーの間に挟んだ。	20	7	121	30~49
5	2017	11	9~10	会社工場内において、他の従業員と2人で重さ100kg程度の機械の荷下ろし作業中、下ろす際に機械が傾いて倒れ、右足の指を負傷した。	30	4	611	10~29
6	2017	11	14~15	コンバインの洗車作業時、泥処理のため、沈殿槽の幅を広く開けていたので開口部となつてしまい、誤って右足を落としてしまったため右足の脛を負傷してしまつた。	35	1	418	1~9

7	2017	11	8～9	全身に衣装を装着し水域ショーに出演中、ステージ下での自由演技の中で、「足を少し曲げてから両足で約30cmジャンプをし、足を曲げながら着地をした」際、右足ふくらはぎに攀ったような痛みが発生した。振りを軽減し最後まで出演した。公演後に公演用船舶から、下船する時に右足ふくらはぎを攀り、足が着けられない状況となった。	31	4	391	1～9
8	2017	11	16～17	整備工場内で、農機具アッパーロータリーとPTOジョイントの接続箇所のガタツキを調べるために左手でジョイントの軸部を持ち、右手で稼働箇所を押さえていたところ、誤って左手の軸を滑り落とし、反動で右手のジョイント部分が折れ曲がり右手指を挟まれて薬指の第一関節に骨折を負った。	62	7	169	1～9
9	2017	10	13～14	顧客事務所内にて複合機の整備中、1時間程中腰作業が続き、その体勢のまま機械部品を取ろうとしたところ、左腰から足先にかけて激痛があった。痛みから歩くことも座ることも出来ず、救急車を要請。	36	19	921	50～99
10	2017	10	13～14	実験室で工具顕微鏡により、サンプルの寸法を測定中、その後方でフード設置のため、工事業者が、工事看板表示及び区画整理をせずに作業しており、高さ2mの位置にて不良箇所調整中にフードを落下させた。被災者は前方を見て作業をしていたため、フードの落下に気付かず、右肩から首にかけて強打した。（フード：900×750×H420ステンレス製約7.2kg）	25	4	391	100～299
11	2017	10	10～11	社内のプラットフォームにて、修理品を洗浄する洗浄機（100×70×80cm位）を移動の為パレット上に乗せようと、5人で持ち上げたところ、持ち上げる姿勢が運搬物に対して少し横向きであった為、背中の筋肉を傷めた。	62	19	921	10～29
12	2017	10	16～17	塗装室の一角にて、スプレーガン塗料缶に塗料を補充し立ち上がった際、ガンの部分と缶の部分が離れ、床面に落下したと同時に塗料が跳ね返り右眼に入る。	62	12	519	10～29

13	2017	10	17~ 18	お客様宅へ冷蔵庫修理に訪問。不具合箇所を判定し、必要部品を車に取りに行く途中に被災。共有廊下から地面に降りる為に階段状になっているコンクリートブロック（50~60cm）を下りる際に足を踏み外した。受付伝票を見ながら小走りの状態であった。踏み外した衝撃と、右足に全体重がかかり痛みが生じた。（転倒はせず。）	43	2	413	1~9
14	2017	10	7~8	ダンプカーのアオリを閉めようとした際に、アオリをロックする金具に右手親指第一関節を挟んでしまったもの。	33	7	221	1~9
15	2017	10	8~9	本社工場の入り口付近にて建築金物（フォームタイ100個入り30kg）を台車に積み込む作業をしていた際、弾みをつけて勢いよる持ち上げたところ、腰に一度に負担がかかり受傷した。	76	19	611	1~9
16	2017	10	11~ 12	工場において、流量計のポンプ修理のため、濃硫酸を汲み上げるポンプケースの破損の確認をしていた。一時確認作業を中断して（流量計の側で）対応を協議していたところ、破損したポンプから濃硫酸が噴出し、それが顔・頭・左上腕部にかかり、受傷した。	46	12	321	1~9
17	2017	9	8~9	N7M/Cの1階で、2階の作業場所に移動させるベアリングの入った木箱を運搬用のトラックに積み込む作業をしていたところ、トラック荷台の工具運搬台車とベアリングの入った木箱との間に左中指部分を骨折した。	26	7	611	1~9
18	2017	9	18~ 19	客先と打ち合わせ終了後、旅館へ移動、旅館に到着して、駐車場に業務用車を駐車後、車後部よりカバンを取り出す為、後部ハッチを開きながら後ずさりした時、後方の溝に転落して受傷。（溝幅約3,000mm、溝深さ約2,000mm）	61	1	419	500 ~ 999
19	2017	9	14~ 15	建物内において、自社が提供した高圧機の修理作業中、圧力ゲージが0になっている事を確認した上で、高圧機の配管を取り外す作業を行っていた。しかし、配管内にゴミが詰まっていたため、実際には配管内には圧力が残っており、配管を外し	38	4	391	10~ 29

				た際、残圧によって激しく噴出した水を浴び、負傷した。				
20	2017	9	9～ 10	ユニック車からの荷下ろし作業中、荷物の確認作業を行っているとき、トラック荷台でバランスを崩し、地面に転落した。	42	1	221	1～9
21	2017	8	9～ 10	材料送り台（高さ1.4m、長さ2.3m、幅2.1m）の上部に、木材板（幅0.4m、厚み5cm）が両側に設置してあり、この足場を利用して溶接作業を行っていた。その際、足場板に火災予防のための水を散布していたため、滑って転落し、頭部と肩を強打した。	65	1	416	30～ 49
22	2017	8	17～ 18	浄水場の濃硫酸注入量増加の原因調査中に、注入ポンプ室外にある廃液ピットに誤って足を踏み入れ、濃硫酸に触れて熱傷を負った。	45	12	911	10～ 29
23	2017	8	10～ 11	エレベーター定期点検時のピット作業終了後、ピットから出るため、同僚と合図しあい、エレベーターを自動運転で1Fから2Fへ動かしたとき、誤ってかごの下のワイヤーロープとシーブの間に右手指を挟まれて、中指・環指・小指を負傷した。	29	7	214	10～ 29
24	2017	8	16～ 17	被災者は、スクリュープレス周辺の洗浄の際、スクリュープレス供給機下を通過しようとしたとき、目測を誤り、頭部を強打し（ヘルメット着用）、その反動で転倒した。手に痺れがあったが、治ると思い我慢して帰宅したところ、両腕に痛みが出た。	51	3	159	100 ～ 299
25	2017	8	14～ 15	整備センター工場内にて、4tダンプより荷物（リース品）を荷降ろし作業中、4tダンプ荷台（高さ約1.5m）から滑り落ち、体勢が悪いまま落下したため、着地の際に左膝に負荷がかかり、左側に倒れる様に転げ落ちた。	36	1	221	1～9
26	2017	8	14～	機材センター整備棟内で、ボーリングマシンのスピンドル部シリンドラーを回転させて横にし、パッキンを交換後、スピンドル部を垂直に戻そうとしたが固結していたため、被災者が工具を	65	7	142	1～9

			15	使用せずに右足で蹴ってスピンドルを回転させようとしたとき、足を踏み外し、ボーリングマシン架台と回転してきたスピンドル部シリンダー下部に右足を挟まれた。				
27	2017	8	10~11	負傷者は、熱処理真空炉のポンプオイルをエアコンのない屋内で交換していたところ、脱力と関節の痛みを感じたので中断し、休息をとった。その後、多少回復したので定時まで軽易な作業をし、帰宅後に受診し、熱中症と診断された。	39	90	715	30~49
28	2017	8	11~12	航空機部品の分解時に、小物部品BOXを持って立ち上がろうとしたときに腰に痛みを感じ、その状態から動くことができなくなった。	23	19	921	50~99
29	2017	7	15~16	船舶の修理を依頼された顧客の船舶内にて船底下に潜り、両膝を曲げ屈んだ姿勢で頭の高さ程の高さにある魚群レーダーの配線の修理を行っていた。修理作業が完了し、立ち上がる際にそのまま真上に立ち上がると船底にて頭を打つ様な狭い作業環境であったため、開口部に向け、上体を左側に傾け、上体をねじりながら重心がかかった状態で立ち上がった際に左膝に「ゴキッ」という音がして左膝に激しい痛みを感じた。	28	19	921	10~29
30	2017	7	18~19	支店事務所において、右手に小道具（約2.5kg）を持って歩行中にバランスを崩し、踏ん張った時に右肩に痛みを感じた。 (業務上決定を待っての提出)	55	19	921	500~999
31	2017	7	10~11	造船所内に上架中の船エンジン修理中、船内のはしご階段（3~4段）を物品を持って降りる際、階段を1段、踏みはずし、尻餅をついて背中を強打した。	72	1	371	10~29
32	2017	7	14~15	エレベーター点検作業を行うため、手動でエレベーターを上昇させていた際エレベーターから枠外に右足かかちが出ていることに気付かず近づいてきた2階ステージとエレベーター床面との間に右足かかちが挟まれ負傷した。	22	7	214	50~99
				客先構内において天井クレーンのタラップ手摺取付作業を被災				

33	2017	7	13~14	<p>者（作業長）含む4名で行っていた。手摺取付後のグラインダー仕上作業の電源をクレーンからとるよう被災者が指示し、他の作業員もトロリー近接作業でないため了承した。その後グラインダー作業に取りかかろうとした際、被災者が作業予定に無かったストッパー取付用ボルトの締め付け作業を開始した。被災者がトロリー点検用デッキとランウェイガーターに足をかけた状態（トロリーに近接した状態）でスパナを用いてボルトに接触した際に感電し被災した。</p>	44	13	211	1~9
34	2017	7	19~20	<p>家電修理業務を終え、顧客宅から会社に戻る途中にトイレのため立ち寄ったコンビニにて、用足しが終わり出口に出たところ、緩い傾斜のところで右足をつまずきひねってしまい、骨折となったもの。</p>	28	2	417	1~9
35	2017	6	14~15	<p>機械置場にて建設機械の修理中に、トラックの荷台の上の工具箱を取ろうと荷台の上に登り、工具箱を持ったまま降りる際にバランスを崩し、後ろへ転倒し、腰を強打した。左腰と左脚に痛みと痺れを感じた。</p>	25	1	221	10~29
36	2017	6	16~17	<p>ダンプの荷台上で機械の積下ろし作業をしている時、暑さで頭がボーッとした状態があって、意識がなくなり、地面に転倒した。</p>	61	1	221	1~9
37	2017	6	16~17	<p>当社工場内において、ラックをよじ登り、2段目に置いてある在庫品の防災シートを取り終え、ラックを下りようとした際に誤って転落し打ち負傷した。</p>	55	1	414	10~29
38	2017	6	14~15	<p>機関室にて主機（エンジン）の組立復旧作業中、脚立に上がった状態で上半身をエンジンに寄り掛け、頭上の物（組立工具2~3kg）を取った時、胸に体重がかかり、左胸の肋骨にひびが入った。後日に診察を受けたところ、ひびが入っていることが判明した。</p>	33	19	921	10~29
				<p>修理で入ってきた機械部品を台車に載せて搬入する際に、勢い</p>				

39	2017	6	16～ 17	をつけたまま機械部品を押さえていた手（指）を、その機械部品と作業台の角に挟んだ。搬送中の周囲の確認不足によるものである。	34	7	362	1～9
40	2017	6	17～ 18	お客様店舗にて、パワーゲートを使用しカゴ車を降ろす時、ゲートより落下しそうになった、レンジなどの商品が収納されていたカゴ車を支えようとした際に、横転させ、左母趾末節骨骨折、左足関節捻挫、左腓腹筋損傷をした。	60	6	362	50～ 99
41	2017	5	17～ 18	第一突堤作業場において、作業終了前に仮置きしていた鋼製パイプ（800A長さ5m、重さ500kg）の滑り止めを直そうとして、上のパイプが荷崩れをして、転がって来て両脚（くるぶしの上から両大腿部）を挟まれた。後方にトラックが駐車していて逃げきれなかった。	53	7	521	10～ 29
42	2017	4	14～ 15	場内において、木製パレットの解体作業を電動丸ノコにて木抜を切断中、重機が近くに移動して来たのに驚き、添えていた左手、手袋が触れ巻き込まれ、左手小指球筋を裂傷した。その際、安全カバーを外して作業していた。	65	8	131	30～ 49
43	2017	4	9～ 10	倉庫内で荷物の整理中、吊荷の鉄板から滑り落ち、右足甲を負傷した。	69	1	416	1～9
44	2017	4	10～ 11	産廃事業部ウッドホグ作業場において、ベルトコンベアを使用した廃材搬出作業中、ローラー部手前で木片が引っ掛かった為、簡単に動かせると思い手を伸ばしたところ、作業服の袖口がベルトに絡んで引っ張られ、ベルトコンベア支柱に激突した。	51	7	224	10～ 29
45	2017	4	11～ 12	工場内に於いて、場内の整理作業中、資機材を置いてある棚の上部（高さ4m、広さ4m×1.5m）に梯子を上ってワイヤーを取りに行った際、棚の上に置いてあった工具（電動ホイスト）に左足がつまずいて落下し、棚の下に置いてあったドラム缶に	49	1	414	1～9

				右足が当たり、ロールベンダー（鉄板加工機械）に顔面を打ち付け負傷した。				
46	2017	4	11~ 12	修理する機械の仮置用角材を確保するため雑木林で木を切り出そうとしていた作業中、倒した木が地面ではねかえり、左胸に当たり負傷した。	79	6	712	1~9
47	2017	4	11~ 12	散水用自家製ポンプのホースひび割れ交換の依頼を受け、修繕依頼者宅においてホース修繕箇所の確認中、第三者より漏電がある旨を告げられ、ポンプ本体の状態を確認していたところ、第三者が誤って電源を入れたため、Vベルトに左手指が巻き込まれ、示指、中指及び環指を負傷した。	62	7		10~ 29
48	2017	3	11~12	鉄道ダンプを点検完了後、リアタイヤに小石が多数挟まっている事を確認し、転車台を上げた状態でエンジンを始動し、ギアを1速に入れ、リアタイヤだけを作動させバールにて撤去を行う。完了後に摩擦車をリアタイヤを押し付けて作動確認をしたところ、異音がありそのまま摩擦車を格納せずにバールでの作業を開始した時、右手に激痛が有り咄嗟に左手を出した所で巻き込まれ負傷した。（左上腕部、右手首、左鎖骨、肋骨他各部骨折、皮膚圧迫、頭部切り傷、裂傷）	42	7	221	10~ 29
49	2017	3	13~14	ホイールローダ点検作業中に、フレーム外装カバーを開けようとして手を入れた時、痛みが有り、手を引き抜いたら左中指が切れていた。	45	8	225	10~ 29
50	2017	3	11~12	エレベーターの定期点検中、かご上に乗りガイドレールの清掃を行っていたところ、2階と3階中間付近にて右側ガイドローラーとガイドレールの上に左手人差し指全体を挟みこんで負傷した。不安全状態として、作業時に安全スイッチを遮断していなかったこと、低速上昇運転を自らおこないながら作業していたことが挙げられる。	36	7	214	100 ~ 299
				ビル屋上で消臭装置に消臭液を充填するため、手持ちにて消臭				

51	2017	3	9~10	液20Lを運搬中に、先が見えずに鉄骨接続部の窪みに右足を取られ内反したため、右足小指、中足小指中足骨を骨折した。	57	19	417	10~ 29
52	2017	2	10~11	工場内で、完成したドライバックに塗装作業中、近くにあった金属の箱に圧縮して収納されていた帯状のドライが弾性により溢れ出し、足に絡まったので除去しようとして、右足脛を受傷した。	19	8	521	10~ 29
53	2017	2	11~12	構内駐機ヤード内にてSK1000DセパレートATT油圧ホースへ飛散防止ガード装着作業2名にて実施中、機械本体から下りる際にクローラーフレームのステップを利用して降りたが、足を踏み外してそのまま落下し腰を強打し救急車にて搬送された。	32	1	141	10~ 29
54	2017	2	5~6	手摺り用階段から手足を滑らせて落下した。	68	1	413	—
55	2017	2	9~10	工事用エレベータ（以下EV）試運転のため、EVポストを昇り、天井ハッチを閉めたところEVが動き出し、外側からEV天井手摺に安全帯のフックを掛けていた被災者が上昇するEVに引っ張られた。安全帯が破損し、約4~5mの高さから墜落した。	47	1	214	30~ 49
56	2017	1	9~ 10	当社工場内において、牛の給餌用のフィーダーバケット内のオーガスクリューを外す作業を行っていた。給餌口から両手を入れてオーガスクリューを引っ張ったところ、他方の穴からオーガスクリューが抜け落ち、その反動で支えていた方が跳ね上がり、穴の中で左手が強打されて負傷した。	59	6	169	10~ 29
57	2017	1	15~ 16	格納庫において、航空機の胴体上部の改修工事を実施していた。作業中に、胴体上部を歩いて移動した際、傾斜部にて体勢が崩れたため、転倒を避けようとしたところ、右足を捻る形となり負傷した。	49	19	239	500 ~ 999
58	2017	1	16~ 17	工場バックホーでバケットの移動している時、バケットと地面の間に左足が挟まり、左足親指骨折および左足擦傷を負っ	62	7	141	1~9

				た。				
59	2016	12	14～ 15	飼料移送用シュートの交換現場にて、シュートを作業員2名が手で持って移動中、重さで足がよろけてシュートを床に下ろした。その際、シュートと作業用足場の固定ボルトとの間に左手を挟み、手の平を負傷した。	45	4	612	10～ 29
60	2016	12	10～ 11	解体現場で、ユンボのアタッチメントの取り付け作業を行っていた時に、Hリンクを押さえつけた時に、手が滑ってアタッチメントとHリンクの間に入り、右手を負傷した。	49	8	145	1～9
61	2016	12	7～8	事務所1F作業場にて、当日の作業現場に行く準備中に、床に置いてあった工具箱とリュックサックを重ねて、両手で持ち上げ、車両に移動しようとして歩き出そうとした時に、腰に激痛が走り、動くことが出来ない状態になった。	24	19	921	1～9
62	2016	12	16～ 17	修理工場でトラクター本体に装着しているブームプレイヤーを外す必要があり、天井クレーンでブームプレイヤーの後方を二点で吊り、前方は油圧ジャッキを掛けてトラクター本体とブームプレイヤーの間に体を入れていた。この途中で前方の油圧ジャッキが外れ、トラクターの後輪フェンダーとブームプレイヤーの間に右腕を一瞬挟まれた。	68	7	361	1～9
63	2016	12	14～ 15	公道の交差点付近において、歩道に高所作業車を止め、アーム先端のバケットに乗り、道路照明設備の点検作業を行っていたところ、走行してきたトラックの天井部分とバケットの底部とが衝突し、被災者が投げ出されて負傷した。	43	1	146	30～ 49
64	2016	12	13～ 14	減速機モーターの近くでチェーンの張り直し作業中に、最後の試運転作業で異音がしたので、運転を止めずにチェーンに触れた為、右手指がチェーンに巻き込まれた。	26	7	169	1～9
65	2016	12	11～ 12	作業場にて、歯車装置の車軸圧入作業が完了し、クレーンで吊り上げて圧入設備から取り外す際、使用しているワイヤーロープが歯車箱に引っ掛かり、バランスを崩して落下。作業者が左	51	4	372	100 ～

				足を負傷した。				299
66	2016	12	16～ 17	工場内で、クレーンとワイヤーを使って品物を回転させる作業中に、ストッパーが外れ、ワイヤーと品物の間に右手が挟まれた。	67	7	379	1～9
67	2016	11	15～ 16	作業場内にて出張作業で使用する機材を準備していた。その際、自立させた酸素ボンベが突然倒れ、手で押さえようとしたところ押さえきれず、自らも別の機材に躓き、当該酸素ボンベが右ふくらはぎに当たり、負傷した。	46	5	391	30～ 49
68	2016	10	15～ 16	台風接近の為、対策中、客先から預かっているショベルキャビンガラスが破損していた為、ビニールシートでカバーする作業中にロープが切れ、ショベル上部エンジンカバー付近から転落して足を骨折した。	44	1	142	10～ 29
69	2016	10	16～ 17	工場内でクレーン玉掛け作業し部材をつり上げ中、部材が別のものに引っかかったのがわからずつり上げた為、玉掛けが外れ、その反動で金具が左手に直撃し裂傷した。	59	6	372	30～ 49
70	2016	10	9～ 10	船の機関室内でエンジンの修理をしている時に左膝に激しい痛みが発生した。	28	19	921	10～ 29
71	2016	10	15～ 16	事業所の作業場内で、トレーラーの上の荷物を片付ける際に脚立を立てたが、鉄板が雨で濡れておりしっかりと固定されていなかったため、脚立が鉄板の上で滑り脚立の上から落下。	23	1	371	10～ 29
72	2016	10	14～ 15	トラックにて荷台上にあつまくら木を整理している際、他の作業者が整理していたまくら木の落下により左人差し指を負傷した。	38	4	522	1～9
73	2016	10	8～9	機材の積み込み中に手が機材の下に挟まった。	43	7	611	1～9
74	2016	10	9～ 10	スタビライザーの調整後のボルト締め付け時に、スパナにパイプを差し込み力を掛けたところ、パイプがスパナから抜けバランスを崩し、約2m下のピットに転落した。	24	1	418	10～ 29

75	2016	10	15～ 16	営業所内にて、大型ダンプの荷台洗車作業中、汚れを出すためにリアゲートが閉まらないように材木を挟んで作業していたが、車両を移動することになり、挟んである材木を取ろうとしてリアゲートを持ち上げた時、材木が外れ、右手人差し指を挟み負傷した。	65	7	221	1～9
76	2016	9	9～ 10	事務所2階から階段を下りていた時、下から3段目の所で雨上がりで階段が濡れていた為、足を滑らせてお尻から転倒して腰を負傷した。	24	2	413	10～ 29
77	2016	9	12～ 13	待避所で出張修理からサービスカーで帰る途中、右足の痛みが激しくなり停車した。その際、サイドブレーキを引かずに意識を失ってしまい、上り坂だったのでサービスカーが後退し、反対側車線のガードレールに追突して停車した。	29	17	715	1～9
78	2016	9	14～ 15	溶接直後、溶接棒の先が熱で赤い状態で、ふくらはぎに当たる。	46	11	332	30～ 49
79	2016	9	19～ 20	屋根の上でエアコン室外機修理中、工具を使いナットをゆるめようとしていたところ、固くしまっていたナットが急にゆるみ、その反動で体のバランスを崩し屋根より転落した。	44	1	415	10～ 29
80	2016	9	11～ 12	建設部材を両手で持ってカゴに入れようとした際、本来部材の中央部を両手で持つべきところ、左手を部材端の下部に手を添える形でカゴに入れた為、カゴに入っていた部材の端と自分が持っていた部材の端との間に左環指を挟み負傷した。	50	7	521	10～ 29
81	2016	9	20～ 21	コンバイン修理作業中、刈取部を作動させながらプーリー部を押さえてつけていたところ、軍手がチェーンに噛み込み左手小指が巻き込まれ骨折した。	43	7	169	1～9
82	2016	9	8～9	作業時の注意や叱責等、精神的な負担からうつ病になった。	23	90	719	10～ 29
			9～	熱風排気ファンを整備作業中、シャフトからインペラを引き抜				

83	2016	8	10	いた際、インペラを支えきれず、ファン出入り口とインペラに右手親指を挟んでしまい骨折した。	42	7	391	1～9
84	2016	8	10～ 11	勤務を終え退社する際出入口にあるドアの敷居の段差に躓き転倒した。その際、右手を地面につき負傷した。	73	2	417	1000 ～ 9999
85	2016	8	10～ 11	パチンコ店オープン立会いのため自宅から店舗に向かう途中、前方不注意により停車中の車に追突し、負傷した。	56	17	231	1～9
86	2016	7	13～ 14	工場内で10t車のグラップル本体のホースガード上部の溶接中に、溶接の火の粉が耳に入った。	38	11	332	1～9
87	2016	7	15～ 16	自動車整備工場にて、リフトのアーム部を起こす作業を脚立を使用して行っていたところ、バランスを崩して脚立から前方へ転落してしまい、左腕と上顎を骨折した。	34	1	371	1～9
88	2016	7	17～ 18	フォークリフトのヒューズが切れる修理において、狭いエンジンルームに中腰で覗き込む姿勢を4時間以上続けていた。ふと起き上がろうとして足を踏み外し無理な体勢で腰に力が入り、激痛で立ち上がることが出来なくなった。	48	19	921	1～9
89	2016	7	9～ 10	格納庫内にある工作室において、壁に立て掛けられたアルミ合金製板材の品質保証ラベルの点検を実施していた。板材を一枚ずつ手前に起こしながら点検していたところ、起こした板の枚数が多くなったことで支えきれなくなり、板材が手前に倒れた。その際、後方に置かれていた三段脚立に座り込む形となり、脚立の踏み板と倒れた板材の間に左脚を挟まれ負傷した。	26	7	521	500 ～ 999
90	2016	7	13～ 14	工場前にて、業務用洗濯機内胴の上部確認の為、脚立に登り1800mm位の所から足を滑らせ転倒、左肩より落ちて、その後、頭部をコンクリートの地面に打った。	55	1	371	10～ 29
91	2016	6	10～	工場内で天井クレーンを使用し、エンジン付きコンプレッサーにロープを掛け、その場所を空けようと吊り上げて移動してい	57	4	372	1～9

			11	た時、ロープが切れ本体が落下し、よけきれず頭と左足に当たり負傷した。				
92	2016	6	8～9	倉庫内で現場へ向かう準備をしていてトラックの荷台へ積むため足元へ荷物をまとめていた。その荷物にけつまずいて転倒し、右足の第3、4指を骨折した。	55	2	611	1～9
93	2016	6	16～17	帰宿途中、車内の物に気をとられ側道の縁石に乗り上げ街路樹に衝突、その際に後部座席に乗っていた被災者が事故の衝撃により負傷した。	29	17	231	—
94	2016	6	18～19	客宅でパソコンの初期設定中に床からプリンターを80cmの高さの机の上に持ち上げようとした際、腰部に痛みが発生。	49	19	612	10～29
95	2016	6	11～12	工場にて建設機械の整備中に機械作業油で足を滑らせ、機械上部より落下した。その際に左足が挟まり痛めた。	27	1	149	10～29
96	2016	5	14～15	工場内に於いて、廃棄する碍子ローラーをトラックに積み込む際、台に2機置いたローラーを奥のローラーから吊り上げたとき手前のローラーに当たってしまい、転がり止めをしていなかった為、台から転げ落ち、近くにいた被災者の右足甲に当たってしまった。	21	4	612	1～9
97	2016	5	16～17	4tトラックの荷台取付作業中、荷台下にもぐって作業していた作業員がいたにもかかわらず、共同作業していた作業員がフロワージャッキを外してしまい、はさまれ事故になった。	25	7	221	1～9
98	2016	5	11～12	柿園地内で散布機の修理をする為、一旦エンジンを止めようとした際、回転しているベルトに指を挟んでしまった。	61	7	121	1～9
99	2016	4	9～10	セメント工場サイクロン作業床にて、サイクロン下部コーン取替のため、既設下部コーンを切断した。作業床内のウインチ・トロリーで吊りながら移動中に下部コーンが作業床内の安全柵に引っ掛かり、外れた反動で荷振れを起こし、荷振れが起きた事によりトロリーがレールから外れ下部コーンが安全柵に接触	23	6	211	1～9

				し、安全柵が倒れ被災者の左足に当たり負傷した。				
100	2016	4	16～ 17	工場内で、高所作業車修理作業中、油圧装置交換後試験運転の 為、作業床を上昇させた。上昇後下降作業を行ったが下降しな かった為、バルブをゆるめてエアを抜き徐々に下降させていた が急に作業床が落下してきて右腕を挟まれた。	39	7	146	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。